



6月定例会は6月3日から6月26日までの24日間の会期で開かれ、市長提出議案等29件と、議員提出議案1件が提出され、いずれも全員一致で承認・可決・同意しました。

4日間にわたる一般質問では、17人の議員が活発な論戦を展開しました。

# 子育て支援がさらに充実 子ども医療費の対象者拡大、幼保無償化などを可決

## 子育て支援の主な議案

### ◇子ども医療費助成の対象年齢拡大(条例改正)

子育てにおける経済的負担を軽減するため、中学生までを対象に行っている医療費助成について、令和元年10月より、入院分のみ、対象年齢を18歳までに引き上げるものです。

### ◇幼稚園・保育所等の保育料無償化(条例改正)

子ども・子育て支援法の一部改正を受け、幼稚園や保育所、認可外保育施設等の対象施設を利用する3歳から5歳までの全世帯の子供を対象に、令和元年10月以降の保育料を無償とするものです。

幼稚園は、国の制度に基づく上限があります。また、住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子供も無償となりますが、本市は対象世帯の保育料を0円としているため、実質的な変更はありません。

### ◇3歳<sup>サン</sup>キュー子育てチケットの利便性向上(一般会計補正予算)

埼玉県の事業である3キュー子育てチケットの利用期間が、「出生年の翌年3月末まで」から、「出生年の翌年12月末まで」に見直されることに伴い、この制度に独自の上乗せをしている本市も、予算上の対応を行うものです。利用期間が延び、利便性が向上します。(健康福祉委員会での審査より)

## 主な議案の質疑

### ◇消防職員の定数増(条例改正)

Q 定数増(139人から168人)に伴う今後の予定は。

A 条例の定数は上限であり、実際には、人材育成や年齢構成などを考慮して、段階的に検討していく。



▲消防隊員による訓練の様子

## 意見書

意見書(議員提出議案)を国・政府に提出

### ◇信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書

わが国の基幹統計である毎月勤労統計調査に係る不正調査案件や、それに続く、賃金構造基本統計調査に係る不適切な取り扱いは、政府統計に対する国民の信頼を著しく失墜せしめる結果となった。統計は国の各種政策の基礎となるものであり、信頼される政府統計を目指して、さらなる改革が必要であり、次に掲げる取り組みを進めることを強く求める。

- ① 統計委員会における基幹統計および一般統計に係る徹底した総点検と再発防止策の策定。
- ② 統計委員会の位置づけの検討や分散型統計行政機構の問題点の整理。
- ③ 統計に係る予算・人材の見直し。
- ④ 統計に係るガバナンス、コンプライアンスのあり方の見直し。

## 人事案件

### ◎公平委員会委員

秋元 善行 氏(再任)

### ◎固定資産評価審査委員会委員

木村 武夫 氏(再任)

鈴木 知子 氏(新任)

### ◎固定資産評価員

駒崎 稔 氏(新任)

《結果》いずれも同意(全員一致)

いる。施設管理を担当するアイル・コーポレーション(株)は、総合ビルメンテナンス企業として商業施設、公共施設等の施設管理を行っている。

### ◇一般会計補正予算

#### 障害者雇用支援業務

#### (職員給与・人事管理費)

Q 今後のスケジュールは。

A 8月を最後に業者選定および契約を締結し、12月までに障害者が担うことができる業務の把握や、業務に合わせた就業環境・勤務条件の整理を行う。その後、3月までに民間事業者のネットワークを活用して、より多くの障害者に職員募集情報を周知し、採用選考を実施する。なお、選考の際、有識者を配置することで採用後のミスマッチを防ぐほか、障害に対する理解を深めるため、職員向けの研修を実施する予定である。

### ◇指定管理者の指定(図書館)

Q 指定管理者候補者はどのような業者か。

A 指定管理者候補者であるT RC・アイルグループは、2社で構成された共同事業体である。図書館運営を担当する(株)図書館流通センターは、図書館用書籍の販売のほか、平成8年から公共図書館や学校図書館の運営業務を受託しており、平成17年から指定管理者制度による図書館運営を行っている。



▲指定管理者が決まった図書館

## 永年勤続議員表彰

おめでとうございます

毎年、全国市議会議長会の定期総会において、地方自治に永年貢献された市議会議員に対して表彰が行われます。

令和元年度は、高橋秀樹議員が35年表彰を受賞されました。

なお、10年表彰の対象である酒井郁郎議員は同表彰を辞退いたしました。



高橋 秀樹 議員